

保険者機能強化の取り組み

地域包括ケアシステムの推進のためには、市町村がその保険者機能をこれまで以上に発揮し、地域の実情に応じた施策を実施していく必要があります。その実現に向けて、データに基づく地域課題を分析し、その結果をもとに具体的な計画を立て、目標値を定めて施策を実施していくPDC Aサイクルの強化に取り組んでいます。

このひとつに、国から示された評価指標である保険者機能強化推進交付金及び介護保険保険者努力支援交付金の評価結果の公表を実施します。

■令和5年度保険者機能強化推進交付金（市町村分）の評価結果

項目	Ⅰ PDCAサイクルの活用による保険者機能の強化に向けた体制等の構築		Ⅱ 自立支援、重度化防止等に資する施策の推進												Ⅲ 介護保険運営の安定化に資する施策の推進						合計		
			(1) 介護支援専門員・介護サービス事業所等		(2) 地域包括支援センター・地域ケア会議		(3) 在宅医療・介護連携		(4) 認知症総合支援		(5) 介護予防/日常生活支援		(6) 生活支援体制の整備		(7) 要介護状態の維持・改善の状況等		(1) 介護給付の適正化等		(2) 介護人材の確保				
			推進	支援	推進	支援	推進	支援	推進	支援	推進	支援	推進	支援	推進	支援	推進	支援	推進	支援			
配点	135	35	100	105	60	100	20	100	40	240	320	75	15	300	300	120	80	40	1,355	830	2,185		
全国平均	84.18	19.93	58.39	64.43	30.98	72.30	16.26	62.31	29.04	119.74	156.74	47.80	10.65	132.61	132.61	64.64	36.54	16.71	742.94	412.92	1,155.86		
福津市	130	35	90	95	50	100	20	75	35	165	190	55	5	75	75	105	18	10	908	420	1,328		

■保険者機能強化推進交付金及び介護保険保険者努力支援交付金の実績

年度	機能強化推進交付金		努力支援交付金		総合評価			
	得点	交付金	得点	交付金	得点合計	交付金合計	県内順位	全国順位
R1	568	11,102,000円	-	-	568	11,102,000円	4/60	非公開
R2	1,167	12,584,000円	593	12,840,000円	1,760	25,424,000円	5/60	110/1741
R3	1,159	12,617,000円	593	12,903,000円	1,752	25,520,000円	5/60	107/1741
R4	985	12,421,000円	410	11,239,000円	1,395	23,660,000円	7/60	210/1741
R5	908	8,333,000円	420	9,340,000円	1,328	17,673,000円	27/60	504/1741

令和5年度は、多くの項目で全国平均を上回っていますが、認知症総合支援、要介護状態の維持・改善の状況、介護人材の確保において、令和4年度より得点率が低下しました。そのため、順位が令和4年度より下がりました。評価指標については、評価項目の趣旨の明確化や、文書負担軽減、災害対策、要介護度の変化率の状況、高齢者の就労的活動に関する評価指標の見直しが行われました。またそれに伴い配点変更もありました。

今後は、各指標の内容を配慮しながらも評価だけに捉われず、高齢者の自立支援・重度化防止等により有効な取組を実施していく必要があります。

<保険者機能強化推進交付金と介護保険保険者努力支援交付金>

平成30年度に、市町村の自立支援・重度化防止等に関する取組を支援する交付金として保険者機能強化推進交付金が創設され、また、令和2年度から、予防健康づくりに資する取組の支援に重点化した介護保険保険者努力支援交付金が創設されました。

市は交付金を活用して、高齢者の自立支援、重度化防止等の取組を推進するとともに、計画の進行管理について、交付金に係る評価結果も活用して行います。